

【事業概要】

① 刑務所所在地において果たす役割

- ・ 刑務所からの連絡を受けて、保護観察所と共に刑務所内で受刑者と面接し、出所後に必要となる福祉サービスの聞き取りを行う。
- ・ 帰住予定地が他県である場合は、他県の地域生活定着支援センター(仮称)に連絡し、対応を依頼。
- ・ 帰住予定先が県内である場合は、障害者手帳の発給など必要となる福祉サービスの申請の事前準備を支援するとともに、グループホームや社会福祉施設など出所後の受入先を探す。
- ・ 保護観察所、地域生活定着支援センター(仮称)、受入先となる関係機関による会議を開催し、出所予定者の出所後の生活について検討する。

② 帰住予定地において果たす役割

- ・ 他県の地域生活定着支援センター(仮称)から県内に帰住予定の出所予定者がいる旨連絡が入った場合は、福祉サービスの申請の事前準備を支援する。
- ・ 保護観察所、地域生活定着支援センター(仮称)、受入先となる関係機関による会議を開催し、出所予定者の出所後の生活について検討する。

「地域生活定着支援センター(仮称)」の平成21年度予算案の概要(新規)

- 予算案: セーフティネット支援対策等事業費補助金210億円の内数
- 実施主体: 都道府県(社会福祉法人、NPO法人等に運営委託可)
- か所数: 都道府県に各1か所、全47か所
- 補助率: 定額(10/10相当)
- 1か所当たり事業費: 1300万円(初年度実施、9か月分の所要額)

(内訳)

① 体制費

- ・ 人件費(4名) ……社会福祉士などを配置

② 活動事務費

- ・ 活動旅費、機器等借料、通信運搬費、消耗品費、関係機関打合わせ会議経費